

中国 5 県資料「コロナ後の経済活性化について」

コロナ後の経済活性化について

鳥取県

“コロナ危機の克服”とコロナ後の県経済・産業の“持続的発展”に向け
鳥取県産業振興未来ビジョンを始動(R3.4)

都市部から副業兼業で人材誘致

副業兼業プロジェクト「鳥取県で週1副社長」(R1~)

「100社100名」を目標に募集

⇒2,032人が応募

⇒74社103人の副業兼業が決定(9月末時点)

✈️客室乗務員の新しい働き方・
鳥取県での副業による
地方拠点移住プロジェクトも進行中!



SDGsによるビジネスチャンス創出

鳥取商工 会議所 × 鳥取環境 大学 × 企業

- SDGsの取組推進に向け**環境分野の課題解決**で連携
- モデル企業3社と調査・実証実験を展開中



新たなビジネスチャンスの創出へ!

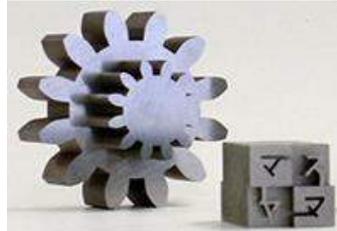
強みを活かし宇宙産業へ挑戦

MASUYAMA-MFG(株) (鳥取市、金属加工業)

従業員わずか4名の企業による宇宙への挑戦

【強み】

- 加工が困難な**超合金素材**の精密加工技術
- 小ロット・短納期生産への対応ノウハウ



【変化への対応力】

- コロナ禍による受注減からの**経営多角化**
- 外部への**技術流出への対策強化**(セキュリティ設備の拡充)

大山を望むワークプレイス誕生

森の隠れ家でワーク&コミュニケーション

- 大山の麓、自然豊かな立地環境
- 県内外の副業・兼業・フリーランス等のワーケーション利用の促進

Royal Hotel大山[伯耆町]



年内に4カ所のワークプレイスが開設予定

コロナ後の経済活性化について

密を避けるアウトドアの取組

○キャンプやサウナなど県内アウトドア体験の魅力の情報発信により観光誘客、県内周遊につなげる



「新たな日常」に適應する新しい働き方 ワーケーションをさらに進化

○ファミリーワーケーションの推進

- ・全国発のファミリーワーケーションプランナー委嘱
- ・普及に向けた方策提案
- ・モニターツアーの企画開催
(大山町)



○副業未解禁企業でも地域と関われる “とっとり翔ける福業”

鳥取市・琴浦町の

6団体へ51名もの

都市部人財が福業を希望！



○#WeLove山陰キャンペーン

鳥取・島根県民の方の宿泊・観光料金を割引

(国「地域観光事業支援」等を活用)

10/1から山陰両県で再開！



I 県内企業の経営基盤強化と生産性向上の取組

1. 中小企業者等への資金繰り支援

- ◆ 「セーフティネット資金」に県単独の低金利・低保証料の特別資金を創設
- ◆ 令和2年度中に借り入れた実質無利子・無担保の制度融資について、返済計画の見直しが必要となった場合の利息の一部や保証料を支援

2. 中小企業者等の収益力を高める取組等の支援

新型コロナウイルス対応経営革新支援事業

- ◆ 厳しい経営環境にある中小企業者等が、新たな経営の柱をつくる事業再構築や、収益を高めるための設備投資、新商品開発、販路開拓などを支援

[事例]

- ・ ホテル事業者がグランピングや民泊を展開
- ・ 冷凍技術を活用した新商品開発

3. 中小企業者等のICT等を活用した取組の支援

しまねデジタルイノベーション推進事業

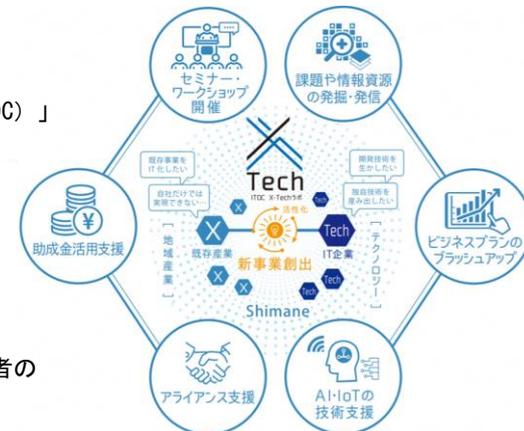
「しまねソフト研究開発センター（ITOC）」を島根県産業技術センターやしまね産業振興財団などが入居する施設に移転し、県内産業のデジタル化支援拠点として、県内企業のデジタルイノベーションに向けた人材育成や事業展開を、関係機関と連携してワンストップで支援

- ◆ アドバイザーの配置 ◆ 相談会の開催 ◆ 専門家派遣
- ◆ 導入検討企業に対する伴走支援
- ◆ デジタル技術の展示・実証スペースの設置
～デジタル化の効果を体験できるスペースを整備し、県内企業への普及を促進
- ◆ マッチングイベントの開催
～商談会形式のオンラインイベントを開催し、県内企業への導入を促進

※「しまねソフト研究開発センター（ITOC）」

H27.10開設

- ◆ 事業創出支援
ITを活用した事業創出、技術開発、販路拡大を支援
- ◆ 研究開発
数年先を見据えた先駆的研究／県内IT企業のニーズに応じた研究
- ◆ 人材育成支援
高度IT技術者の集積を目指し技術者の研鑽の場を提供



II 観光振興施策の取組

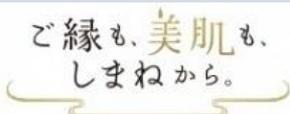
1. コロナ禍での観光需要喚起策

- ◆ 鳥取県と連携し、島根・鳥取両県民を対象とした、両県内の宿泊割引等の支援策「#WeLove山陰キャンペーン」を実施
- ◆ 国の地域観光事業支援を活用した、県民向けの観光支援策「再発見！あなたのしまねキャンペーン」を実施



2. アフターコロナに向けた取組

(1) 美肌観光の推進



「ご縁も、美肌も、しまねから。」をキャッチフレーズに、幅広い年代の女性をターゲットとした「美肌観光」を推進

- ◆ 民間企業（POHD・ANAHD）と連携した、「美肌ウェルネスツーリズム」の推進
- ◆ 旅行商品やコンテンツ造成への支援

(2) インバウンド向け観光コンテンツの開発等の支援

ポストコロナのニーズにあった、個人・小グループ向けの、地域の観光資源を活かしたコンテンツ開発及び販売を支援

- (例) 着物着付けお散歩体験（松江市）
- 観光タクシー&ローソク島遊覧船（隠岐の島町）

(3) 宿泊施設等の整備支援

- ◆ 新しい旅のスタイルに対応した宿泊施設の受入環境整備に係る経費の支援
(例) 個室化、貸切風呂、グランピングなど



- ◆ 国の「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」について、県と市町村が協調して支援を実施
(実施地区) 有福温泉（江津市）
温泉津温泉（大田市）

岡山DCを契機とした観光需要の回復

岡山デスティネーションキャンペーン(DC)

2022年7月～9月

アフターコロナを見据えた観光振興



観光素材開発

岡山の強み

自然、歴史、温泉、町並み、
星空、フルーツ、アート、
グルメなど



新たな旅のニーズ

自然志向、リアルな体験の価値
向上、密を避ける、安全安心、
マイクロツーリズムなど

滞在時間の延長やリピーターの確保につながる観光地づくり

岡山DCを契機とした観光需要の回復

プレキャンペーン

2021年7～9月

モデル展開

蒜山スターウォッチング
＜星空×密を避ける＞



ツウになるフルーツ探訪
＜フルーツ×体験＞



効果検証

デジタルマーケティング

- ・ターゲット設定
- ・SNSを活用した動画広告配信
- ・効果測定・分析

観光素材のさらなる磨き上げ

本番

2022年7～9月

全国発信

ターゲットに合わせた戦略的なプロモーション展開

アフターキャンペーン

2023年7～9月

岡山ならではの観光素材として定着

本県の観光入込客数と観光消費額の回復を図る

コロナ後の経済活性化について(観光振興)

本県の観光客等の状況

観光客数、宿泊者数ともに新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年と比べて、依然として厳しい状況。

◆令和3年と令和元年の1月～7月までの観光客数、宿泊者数

| | 総観光客数 | 宿泊者数 |
|---------|---------|----------|
| R3年 | 1,887万人 | 287.9万人泊 |
| R元年 | 3,786万人 | 558.4万人泊 |
| R3年/R元年 | 50% | 52% |

※R3年総観光客数は、過去4年間(H29～R2)の総観光客数に占める県内主要観光施設15か所のモニタリング数値の割合から算出した推計値。
R元年の総観光客数は確定値。

※R3年宿泊者数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の速報値。
R元年の宿泊者数は、確定値。

課題

観光関連事業者の事業継続、観光需要の早期回復

これまでの対応状況

◆観光・飲食関連事業者等の支援

厳しい経営環境にある飲食、観光関連事業者の事業継続を図るため、クラウドファンディングを活用し資金調達を支援

◆デジタル技術等を活用した観光地スマート化の推進

誰もがストレスなく、安全・安心に県内周遊観光を楽しめるよう、観光関連事業者等が行うデジタル技術等を活用した受入環境整備に要する経費を支援

◆宿泊事業者に対する感染防止対策等への支援

宿泊事業者が実施する感染防止対策及び新たな需要に対応するための前向き投資の支援を行い、宿泊施設における受入環境整備を推進

◆観光誘客の促進

宿泊事業者や旅行業者を幅広く支援するため、県内宿泊割引プランや県内旅行割引プランの造成に要する経費を支援するほか、宿泊割引等を利用する旅行者が旅行期間中に使用できる地域クーポン券を造成



〔飲食関連事業者支援事業〕
ひろしま好きじゃ券

コロナ後を見据えた今後の対応

今後も起こり得る急激な環境変化や様々なリスクに柔軟に対応できるよう、次の取組等により、自立的・継続的な観光産業の確立に向けた観光構造の改革を進める。

① 新たな観光プロダクトの開発におけるIT関連産業や製造・小売業など、異業種を含む幅広い事業者と連携した取組

付加価値の高い観光プロダクトの開発

- ① 日本でも希少な塩田熟成牡蠣（クレールオイスター）を提供する地産地消型体験プロダクト



- ② レンタカーでのドライブを組み込んだ地元食材（比婆牛）を楽しむツアー



② 顧客視点に基づくおもてなしの質の向上に向けた事業者による自発的な取組の促進

③ 広島を高く評価し、広島の魅力を自発的に発信してもらえるような広島ファンの増加に向けた取組

『HITひろしま観光大使』

グルメ、スポット、人、体験など、ひろしま広島の魅力を発信する方を募集し、任命。ひろしま観光大使の方々からのSNS等の投稿を通じて、広島県のPRにつなげる取組。約3,000人が登録(9/20現在)。



県内経済の回復・活性化に向けた取組

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた幅広い業種の中小企業の**事業活動**を支援するとともに、コロナ禍で落ち込んだ**消費需要**を喚起！！

I コロナ禍を乗り越えるための**事業活動支援**

～ 事業活動の**継続**に向けた支援 ～

事業者が安心して事業を継続できるよう、**2度にわたり県独自の支援金を支給**

【中小企業事業継続支援金】

第4波までの長期化する感染症の影響を受けた事業者への支援金

法人：40万円 個人：20万円

【中小事業者デルタ株集中対策支援金】

8、9月のデルタ株による急激な感染拡大の影響を受けた事業者への支援金

法人：40万円 個人：20万円

～ 事業活動の**活性化**に向けた支援 ～

コロナ禍において、**新たな事業展開等**を図る取組や**安心した事業活動**を支援

【頑張る事業者リスタート補助金】

事業者が行う**感染防止対策**や**コロナに対応した事業展開等**の経費補助

補助率：3/4 補助上限額：50万円

【中小企業PCR検査補助金】

事業者が従業員に対して**自主的に実施するPCR検査等**の経費補助

補助率：1/2 補助上限額：30万円

II 地域経済の活性化に向けた大胆な**消費需要喚起**

【頑張るお店応援プロジェクト】

購入型クラウドファンディングの活用による
店舗の資金支援と消費需要の喚起



元気にやまぐち券の発行

- ◇ プレミアム率 **50%**
- ◇ 支援目標金額 **7億円** (発行総額 **10億円**)

2週間で目標達成！

事業活動支援と消費需要喚起を両面から展開し、
県内経済の早期回復と活性化を図る！

山口県の観光のV字回復に繋げる反転攻勢に向けた取組

観光産業の活性化に向けた「強力な需要喚起策」を展開するとともに、コロナの時代においても持続可能な観光地づくりを推進！！

山口県観光V字回復プラン

コロナの時代にあって取り組むべき施策を短期集中的に実施していく指針

【計画期間】R3～R4

需要喚起

行こうよ。やまぐち
プレミアムキャンペーン



(1) 本県独自の
大規模な需要喚起策

やまぐちプレミアム宿泊券

5,000円の宿泊券を半額で販売

【販売エリア】中国・四国・九州地方

【実績】R2年度から合計**100万枚以上販売**

やまぐち遊び・体験半額キャンペーン

体験型コンテンツの50%割引キャンペーン

(2) 地域観光事業支援の活用

旅々やまぐち県民割

旅行代金を最大5,000円割引、

2,000円分の地域限定クーポンの配布 等

【対象者】山口県民限定

選ばれる観光地づくりの推進

スポーツフィールドやまぐち

キャンプとアウトドアを結び付け、「手ぶら」で「気軽」に楽しめる「新しいアウトドアスポーツツーリズム」を推進

Sports Field Yamaguchi



GROUND・陸



WATERSIDE・水辺



SKY・空

戦略的な着地整備の推進

ビッグデータの分析に基づいた民間事業者による戦略的な取組を支援(観光客向けの付加価値の高い商品・サービスの開発、生産性向上等)



←萩城下町の若い世代への訴求力強化

←元乃隅神社を基軸とした滞在時間延伸

安心・安全な旅行の実現

宿泊施設における「新しい生活様式」への対応、感染拡大防止対策、高付加価値化・収益力向上の取組を支援

最大750万円補助(補助率3/4等)

地域観光事業支援活用



県独自に
上乗せ補助

感染拡大防止



高付加価値化・収益力向上



非接触体温計

キャッシュレス

配膳ロボ

自動翻訳機

ワーケーション
環境整備

将来を見据えた戦略的な取組を展開し、
山口県の観光産業のV字回復を図る！